

9. 高等部

(1) 高等部の教育目標

- ①自分の進路に関心を持ち、進んで諸活動に参加・挑戦する生徒 (知)
- ②素直で思いやりがあり、他者と協働できる生徒 (徳)
- ③さまざまなことに喜んで取り組む健康で明朗な生徒 (体)

(2) 教育課程編成の方針

- ①小・中学部との系統性を考慮して編成する。
- ②生徒の実態に応じて、Ⅰ・Ⅱ課程の教育課程を編成する。
- ③Ⅰ課程は、高等学校学習指導要領に自立活動を加えて編成する。
- ④Ⅱ課程は、知的教育課程として特別支援学校高等部学習指導要領に基づき編成し、教科を中心に学習するⅡ課程 A と、自立活動を中心に学習するⅡ課程 B の二つを設定する。
- ⑤訪問教育における教育課程は、Ⅰ・Ⅱ課程に準じて弾力的に編成する。

(3) 各教科等の指導の重点(基本方針等)

【Ⅰ課程、訪問Ⅰ課程】(一般教育課程:高等学校の教育課程に自立活動を加える)

①各教科

<国語>

ア 知識及び技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

ウ 学びに向かう力・人間性等

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

<地理歴史>

ア 知識及び技能

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

<公民>

ア 知識及び技能

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

<数学>

ア 知識及び技能

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

<理科>

ア 知識及び技能

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする

イ 思考力・判断力・表現力

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする

ウ 学びに向かう力・人間性等

自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

<保健体育>

ア 知識及び技能

運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付ける

ようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

<芸術>

(音楽)

ア 知識及び技能

曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

(美術)

ア 知識及び技能

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

<外国語(英語)>

ア 知識及び技能

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情

報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

<家庭>

ア 知識及び技能

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

<情報>

ア 知識及び技能

情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

② 道徳

道徳教育は、自分自身の在り方、生きかたについて考え将来にわたって主体的に生きる態度や他者の立場を尊重し、思いやりの心と協調性の精神、規範意識を高め、社会に貢献する意欲的な態度を育てることを目的とし、教育活動全体を通して行う。

③ 総合的な探求の時間

ア 知識及び技能

探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる機念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

④特別活動

ア 知識及び技能

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

【Ⅱ課程、訪問Ⅱ課程】(知的教育課程:特別支援学校高等部の教育課程)

①各教科

<国語>

ア 知識及び技能

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

<社会>

ア 知識及び技能

社会的事象について、様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

イ 思考力・判断力・表現力

社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、社会の将来を担う一員としての自覚、多様な人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

<数学>

ア 知識及び技能

生活に必要な数量や図形に関する理解を深めると共に、情報に関する基礎知識・技能を数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

<理科>

ア 知識及び技能

自然に親しみ、身の回りの生物や植物に関心を持つことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

観察、実験の流れを知り、見通しをもって取り組むことができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを日常生活で活かそうとする態度を養う。

<音楽>

ア 知識及び技能

曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について知り、音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

音楽を自分なりの言葉で表現し、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

<美術>

ア 知識及び技能

造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

<保健体育>

ア 知識及び技能

各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考を判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

<職業>

ア 知識及び技能

職業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに関連する技術を身に付ける。

イ 思考力・判断力・表現力

職業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。

ウ 学びに向かう力・人間性等

よりよい社会の構築を目指し自ら学び、職業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

<家庭>

ア 知識及び技能

家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

<外国語(英語)>

ア 知識及び技能

外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

<情報>

ア 知識及び技能

課題や目的に応じて情報手段を活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を高める。

イ 思考力・判断力・表現力

情報活用の基礎となる情報手段の特性を知り、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法を実践する。

ウ 学びに向かう力・人間性等

社会生活の中で情報技術が果たしている役割を知り、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会に参画しようとする態度を身につける。

<職業実習(学校設定教科)>

職業の各分野における実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成することを目指す。

②道徳科

道徳教育は、自分自身の在り方、生きかたについて考え将来にわたって主体的に生きる態度や他者の立場を尊重し、思いやりの心と協調性の精神、規範意識を高め、社会に貢献する意欲的な態度を育てることを目的とし、特別の教科道徳および教育活動全体を通して行う。

③総合的な探求の時間

ア 知識及び技能

探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる機念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

④特別活動

ア 知識及び技能

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

(4) 授業日数及び授業時数の配当

① 年間授業日数表、訪問教育授業日数表 別紙参照・・・様式6

② 教育課程表、授業時数配当表 別紙参照・・・様式7

(5) 特別活動の計画

① 年間行事計画 別紙参照・・・様式8

② その他の特別活動の計画(ホームルーム活動は除く) 別紙参照・・・様式9

(6) 月授業・行事等の計画表

別紙参照・・・様式10

(7) 授業時数換算表

別紙参照・・・様式11